

# 土木工事評定細目

平成27年4月  
江戸川区土木部

# 施 工 管 理

[土木工事]

区分	番号	細 目	評 定 点			評定外
施 工 体 制 一 般	1	施工体制台帳及び施工体系図が整備されていたか。	+2	0	-2	
	2	施工体系図が現場と一致していたか。	+1	0	-1	
	3	建設業許可（建設業許可票、労災成立票、作業主任者一覧表等）を示す標識が公衆の見やすい場所に設置されていたか。	+1	0	-1	
	4	有資格者の作業分担と責任の範囲が明記され、現場と一致していたか。	+3	0	-3	
	5	検査時の対応は、適切であったか。	+2	0	-2	
	6	現場事前調査（図面確認・埋設物等）を行ったか。	+2	0	-2	
	7	監督員に段階確認してもらう立会等が適切な時期に行われたか。	+2	0	-2	
	8	現場代理人として、監督員及び地元住民との連絡調整が十分行われたか。	+3	0	-3	
	9	主任技術者又は、監理技術者として技術的判断力に優れ良好な施工に努めたか。	+3	0	-3	
	10	工事内容に応じた人員、機械配置がなされ施工していたか。	+3	0	-3	
関 係 書 類	11	特記仕様書及び当該工事に必要とされる各管理項目の記載事項を遵守し書類が提出されたか。	+3	0	-3	
	12	各種提出書類の整理が適時、的確になされていたか。	+1	0	-1	
	13	品質証明、その他必要書類を見やすく整理し、適切な時期に提出されたか。	+2	0	-2	
	14	検査に必要な関係書類はチェックされていたか。	+2	0	-2	
	15	工事記録写真について、見やすく整理されていたか。	+3	0	-3	
	16	出来形において、不可視部分が写真で的確に判断できるか。	+2	0	-2	
小 計						
加減点計			+ -			
評価外点補正 (小数点以下四捨五入)		(35 / (35 - 評価外点合計)) × 加減点計				
標 準 点			65			
加 算 点	17	中間検査後、上記項目の各事項の向上に努めたか。	+3			
	18	提出書類の独創性（アイデア、工夫等）があった。	+2			
	19	作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めたか。	+2			
	20	施工方法などについて、新たな提案を行い、工期短縮等、住民負担の軽減に努めた。	+3			
	21	地球環境に配慮した施工管理を行っていた。	+3			
減 算 点	22	上記の項目について、中間検査時に指摘された事項と同様な指摘があった。	-5			
	23	現場代理人が常駐しなかった。	-10			
	24	常駐すべき技術者が不在の時があった。	-10			
	25	提出書類において不誠実な書類の提出があった。	-20			
合 計						

# 工 程 管 理

# [ 土木工事 ]

区分	番号	細 目	評 定 点			評定外
施 工 計 画 書	1	施工計画書の提出時期は適切であったか。	+3	0	-3	
	2	施工計画書の記載内容がわかりやすく、かつ、法令、指針等に基づき正しく書かれていたか。	+4	0	-4	
	3	計画内容に変更が生じた場合は、着手前に変更計画書が提出されたか。	+3	0	-3	
工 程 管 理	4	一日の作業量を決め、施工していたか。	+3	0	-3	
	5	休日の確保を行っていたか。	+2	0	-2	
	6	実施工程表は分かりやすく記載されているか。	+2	0	-2	
	7	実施工程表に基づく工程調整が図れていたか。	+4	0	-4	
	8	時間等の制約が生じた場合、それに対応する体制で工事が行われたか。	+3	0	-3	
	9	対外調整を行い、円滑な進捗を図ったか。	+4	0	-4	
	10	主要材料は予定どおり搬入していたか。	+2	0	-2	
	11	施工計画及び工程に対する打合せ等を適切に行ったか。	+2	0	-2	
そ の 他	12	施工計画により正しく施工するために、受注者自らが確認し、その内容が的確に記録されていたか。	+3	0	-3	
小 計				/		
加減点計			+ -			
評価外点補正 (小数点以下四捨五入)		( 3 5 / ( 3 5 - 評価外点合計 ) ) × 加減点計				
標 準 点				65		
加 算 点	13	中間検査後、上記項目の各事項の向上に努めたか。	+3			
	14	会社全体として、バックアップ体制を構築し、工程管理を行っていた。	+3			
	15	工程管理を的確に実施し、早期に完了させた。	+5			
減 算 点	16	上記の項目について、中間検査時に指摘された事項と同様な指摘があった。	-5			
	17	施工計画書が特別な理由も無く施工前に提出されなかった。	-10			
	18	関連工事との調整に関して、監督員の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。	-10			
	19	特別な理由もなく工期内に工事を完了しなかった。	-10			
	20	特別な理由も無く手直し期限内に手直しを完了しなかった。	-10			
合 計						

# 現場管理

# [土木工事]

区分	番号	細目	評定点			評定外
施工状況	1	作業者の熟練度、規律等は良かったか。	+3	0	-3	
	2	施工ミスや手戻りは、無かったか。	+3	0	-3	
	3	地元PRは適切に行われたか。	+3	0	-3	
	4	現場での資機材の保管状況及び日常的な整理整頓はどうであったか。	+3	0	-3	
	5	仮設材の施工方法及び設置状況はどうであったか。	+3	0	-3	
	6	日常の品質管理が適時、的確に行われていたか。	+2	0	-2	
	7	測量(丁張り・墨出し等)関係の設置及び管理状況はどうであったか。	+3	0	-3	
	8	道路協議書等に基づく施工方法であったか。	+2	0	-2	
品質	9	出来形記録と現地の計測は一致していたか。	+2	0	-2	
	10	仕様書等に定められた正しい施工方法により管理されていたか。	+2	0	-2	
	11	品質関係の現場試験結果及び管理等が規格値を満足していたか。	+1	0	-1	
	12	コンクリート構造物の打設及び養生は適切であったか。	+1	0	-1	
	13	既設、新設構造物との擦り付け状況は良好であったか。	+3	0	-3	
	14	構造物のおり(高さ関係等)は良好であったか。	+1	0	-1	
	15	外観及び仕上がりは良好であったか。	+3	0	-3	
小計						
加減点計			+ -			
評価外点補正 (小数点以下四捨五入)		(35 / (35 - 評価外点合計)) × 加減点計				
標準点			65			
加算点	16	中間検査後、上記項目の各事項の向上に努めたか。	+3			
	17	使用機械に創意工夫し施工環境に応じた適切な配慮が行われた。	+2			
	18	施工に際して積極的に努力していた。	+2			
	19	現場内において、美化や安全確保等のイメージアップを積極的に図っていた。	+2			
減算点	20	上記の項目について、中間検査時に指摘された事項と同様な指摘があった。	-5			
	21	手直し指摘事項が多いもの。	-5			
	22	当該工事の主体的な工種等が設計図及び条件等と相違があり、大規模な改修を命じられたとき。	-20			
合計						

# 安全管理

[ 土木工事 ]

区分	番号	細目	評定点			評定外	
安全管理	1	保安施設は工事全般にわたり、保安施設配置計画と一致していたか。	+4	0	-4		
	2	保安施設は現場の進捗状況に合わせて的確であったか。また、管理されていたか。	+4	0	-4		
	3	工事安全や労働災害防止に対する会議等をおおむね1回/月以上行い記録されていたか。	+2	0	-2		
	4	大	現場として安全教育・訓練等を半日/月以上実施し、記録等が整備されていたか。	+3	0	-3	
		小	工事関係者に対し、安全指導が適切に行われていたか。				
	5	交通整理員の能力及び配置は、適切であったか。	+4	0	-4		
	6	現場内及び現場周辺の清掃、後片付けを十分行っていたか。	+3	0	-3		
	7	歩行者・周辺住民及び学童等に対する安全通路は確保されていたか。	+4	0	-4		
8	工事に関係する排水処理対策（仮排水等）は十分に行っていたか。	+2	0	-2			
対外関係	9	当該工事に関する諸官庁へ手続等がなされていたか。	+2	0	-2		
	10	苦情に対する対応状況が適切であり、速やかに監督員に報告したか。	+4	0	-4		
	11	事故発生時の対応が適切であり、二次災害を予防し必要な処置を速やかに行ったか。	+3	0	-3		
小計							
加減点計			+ -				
評価外点補正 (小数点以下四捨五入)		(35 / (35 - 評価外点合計)) × 加減点計					
標準点			65				
加算点	12	中間検査後、上記項目の各事項の向上に努めたか。	+3				
	13	安全管理に関する創意工夫に取り組んでいた。 (努力度)	+3				
	14	作業員の健康管理について積極的に取り組んでいた。	+2				
減算点	15	上記の項目について、中間検査時に指摘された事項と同様な指摘があった。	-5				
	16	工事に起因する事故があった。	-5				
	17	工事が起因し第三者に怪我があった。(要綱第7条第6項の別表を除く)	-10				
合計							